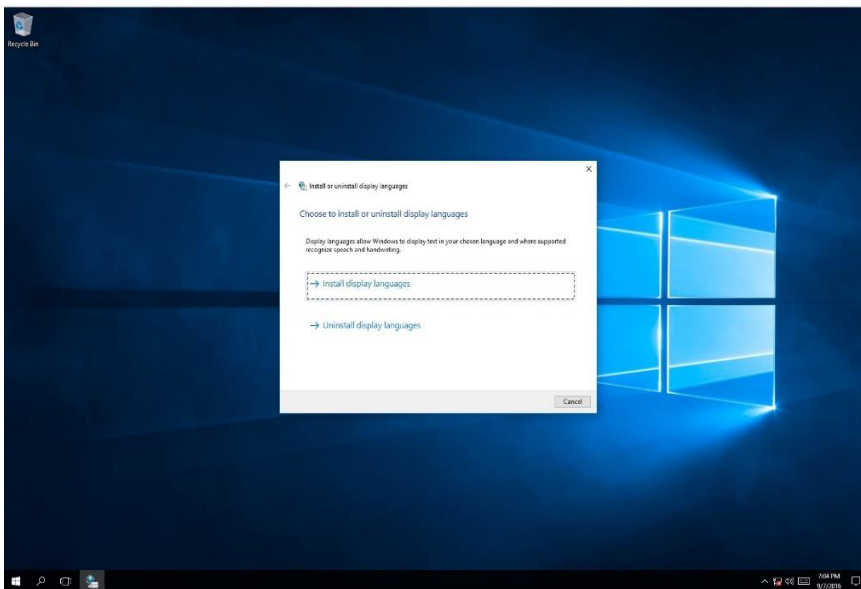


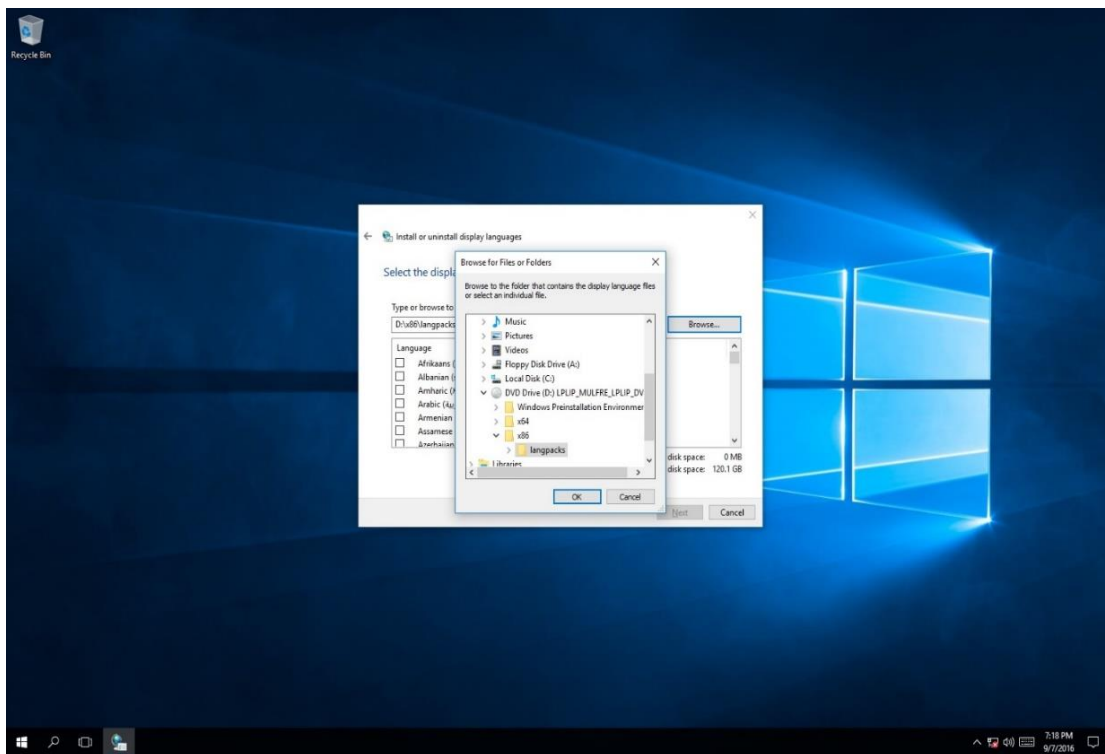
インストール済み環境のローカライズ

○言語パックのインストール

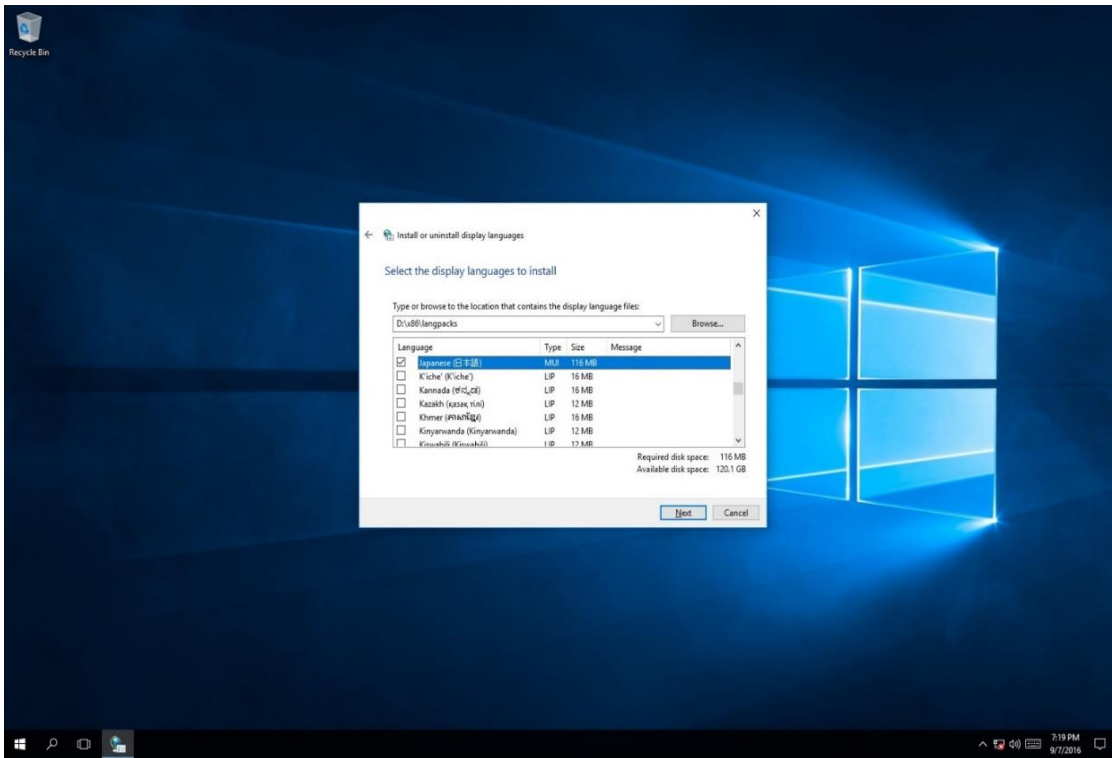
- 1.Windows 10 IoT Enterpriseのインストールされた環境を起動
- 2.対象環境に対し、ダウンロードした日本語パックを保存したUSBまたはDVDなどのメディアを挿入
- 3.検索ボックス（虫眼鏡マーク）より「lpksetup」と入力、実行
- 4.表示言語のインストールについて、ダイアログボックスが表示されるので「Install display Languages」を選択



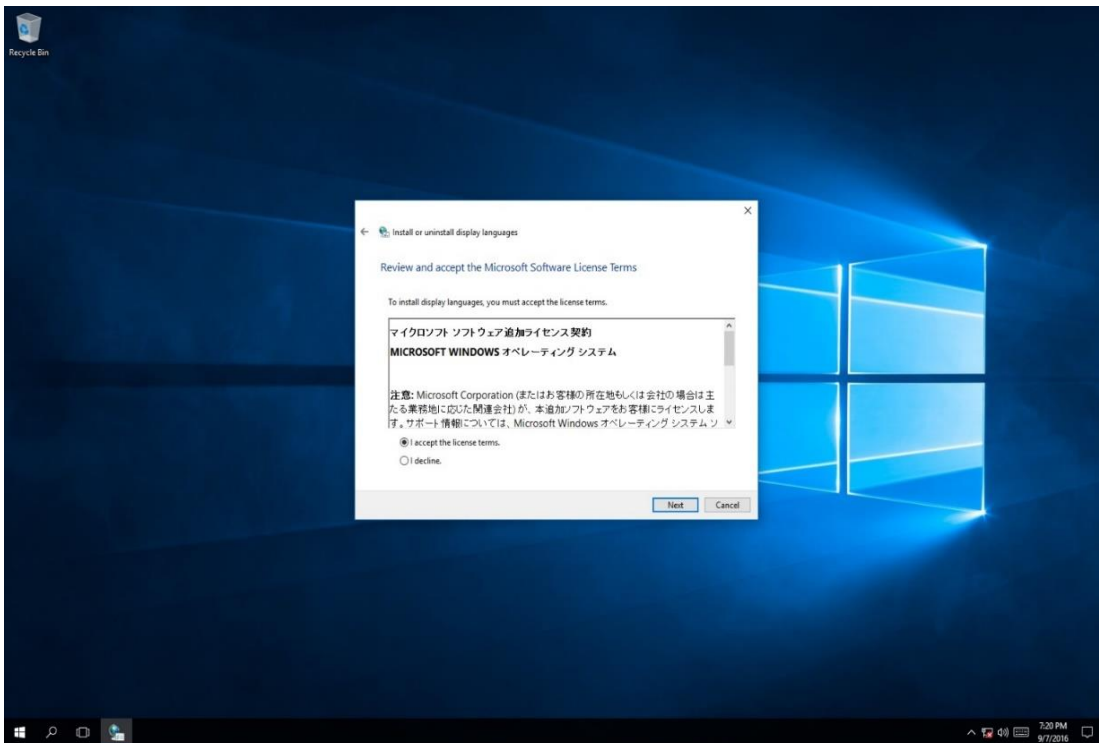
- 5.インストールする言語パックの参照先を求められるので、1項で挿入したメディアを参照

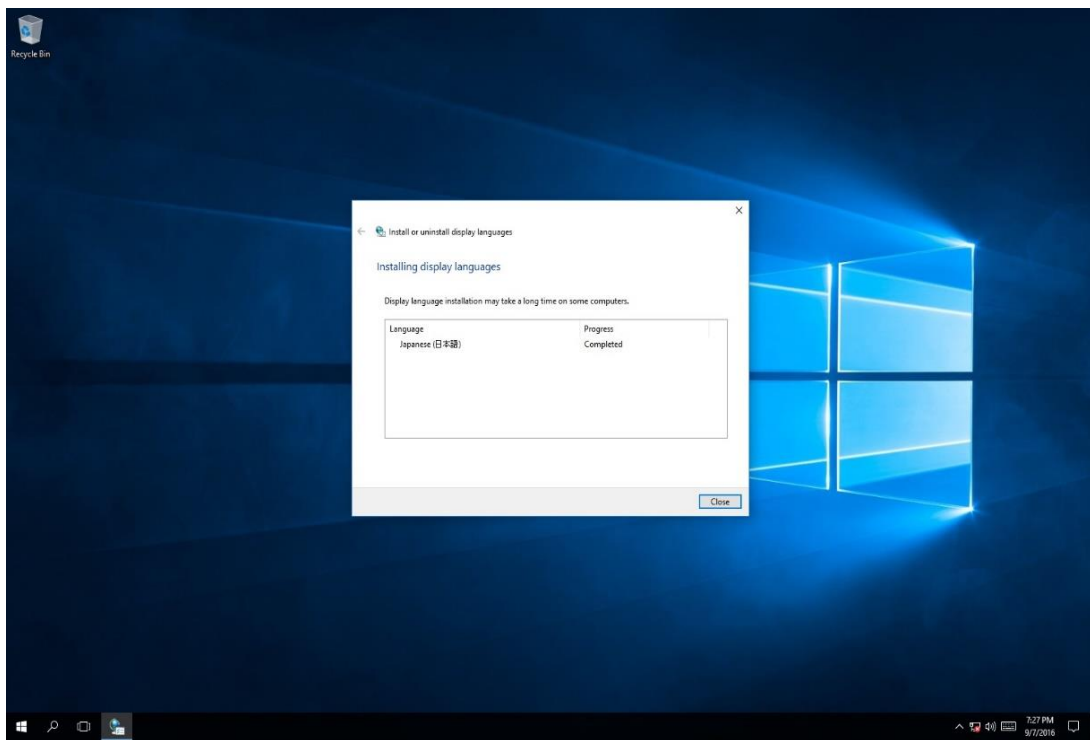
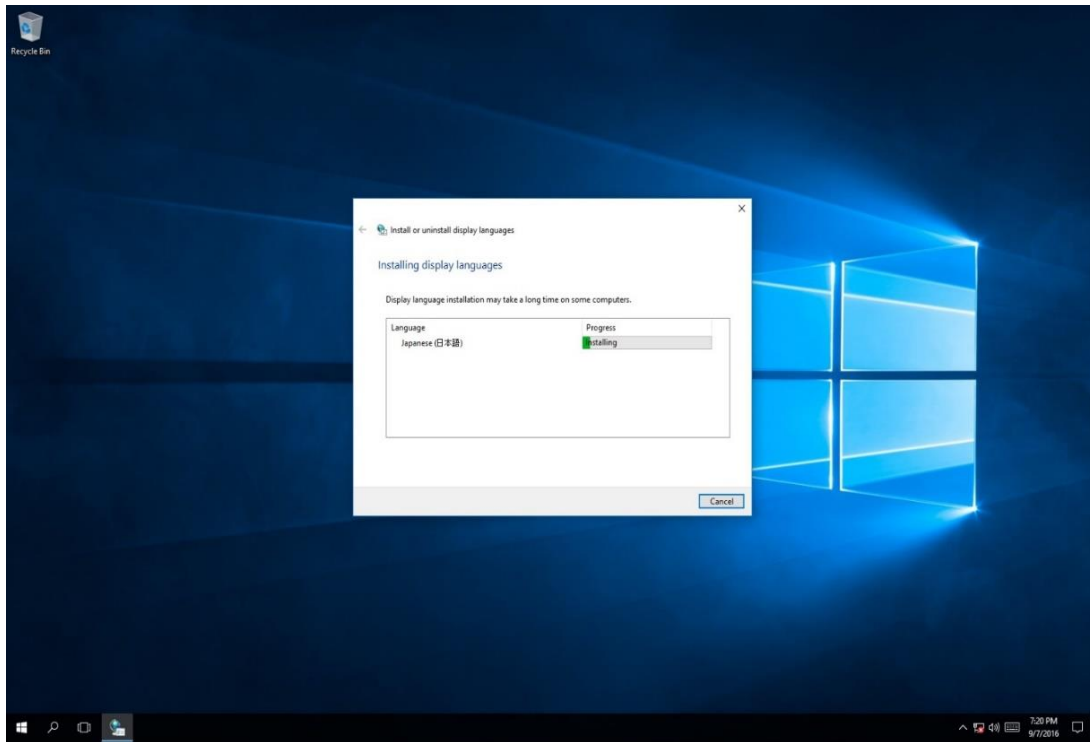


6.読み込みの後、ダイアログ下部に言語一覧が表示されるので
インストールしたい言語を選択（例では日本語を選択）



7.必要言語選択後、ウィザードに従いインストールを開始



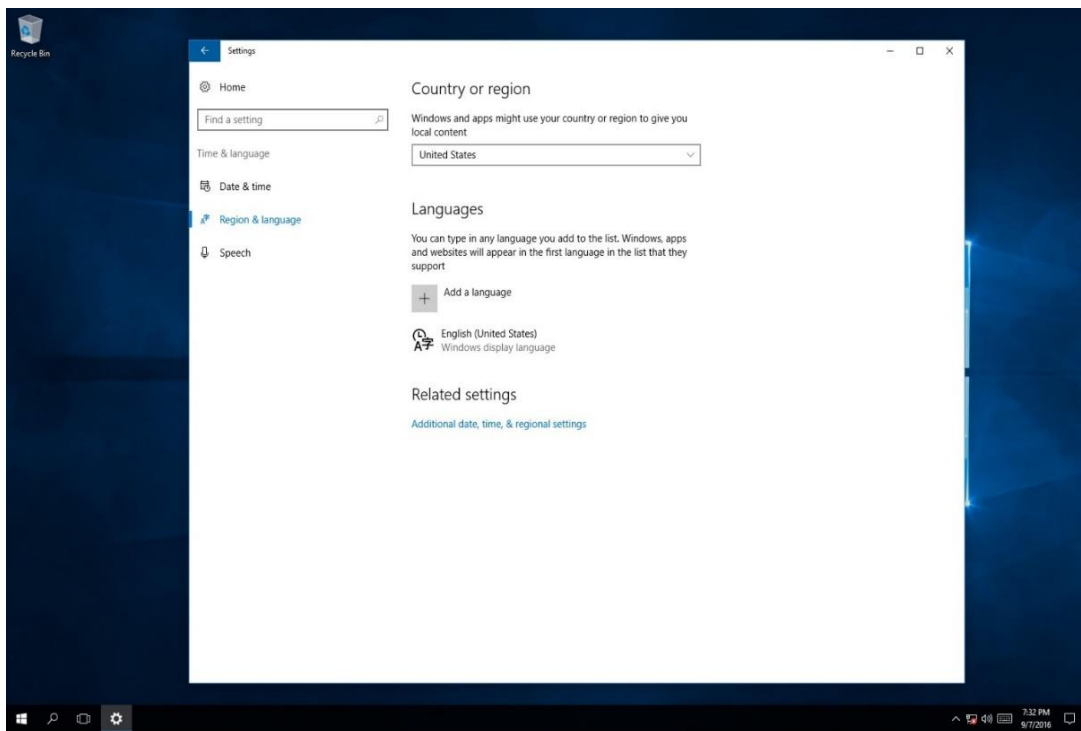


8.インストール完了後、ウィザードを終了

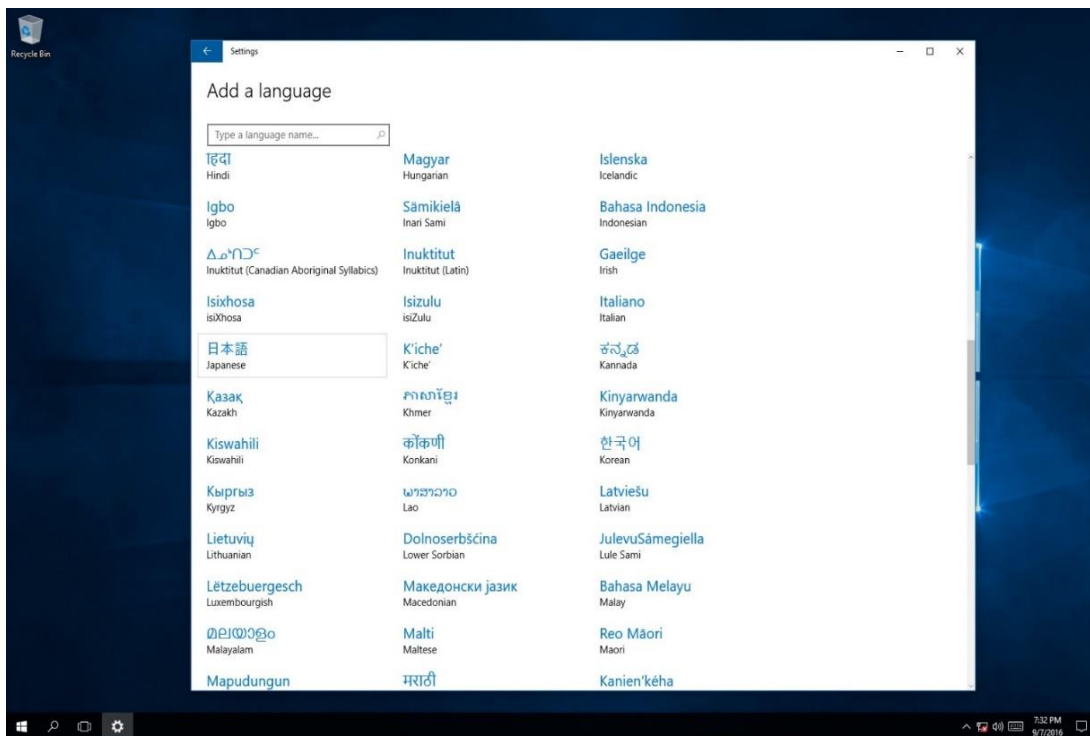
○表示言語の変更

1.言語パックのインストール完了後、「スタート」より「設定」を起動

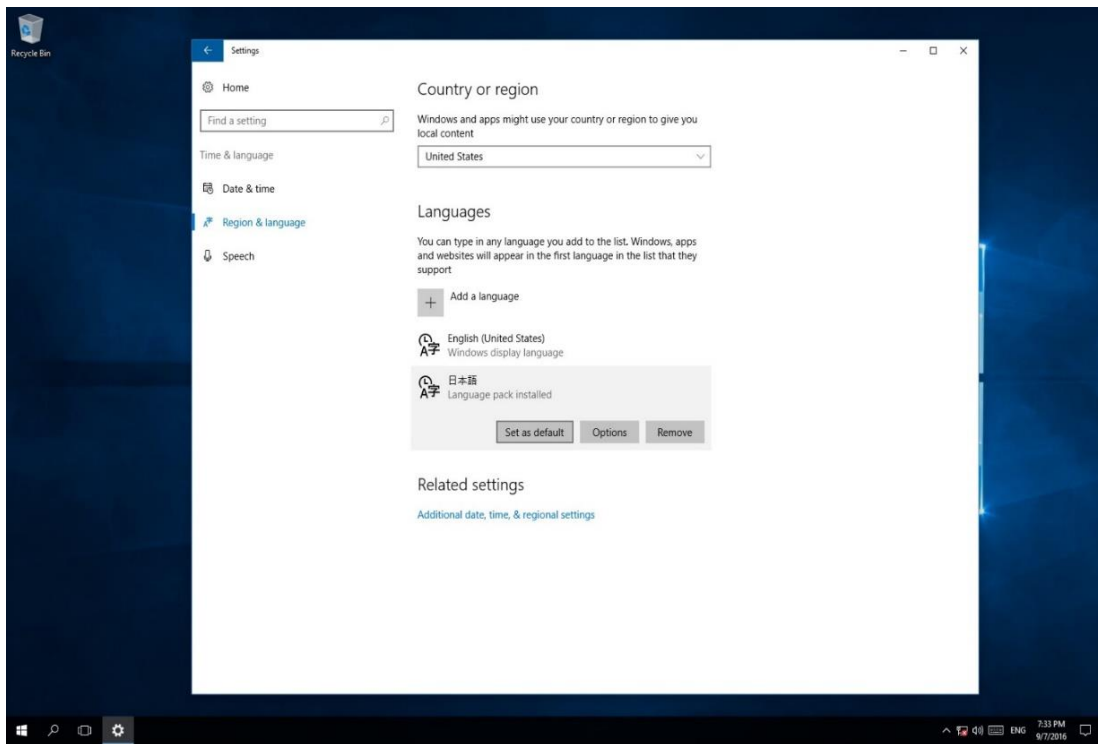
2.「Time & Language → Region & Language」と進み、「Add a Language」を選択



3.言語一覧が表示されるので、「追加したい言語を追加」（例では日本語を追加）

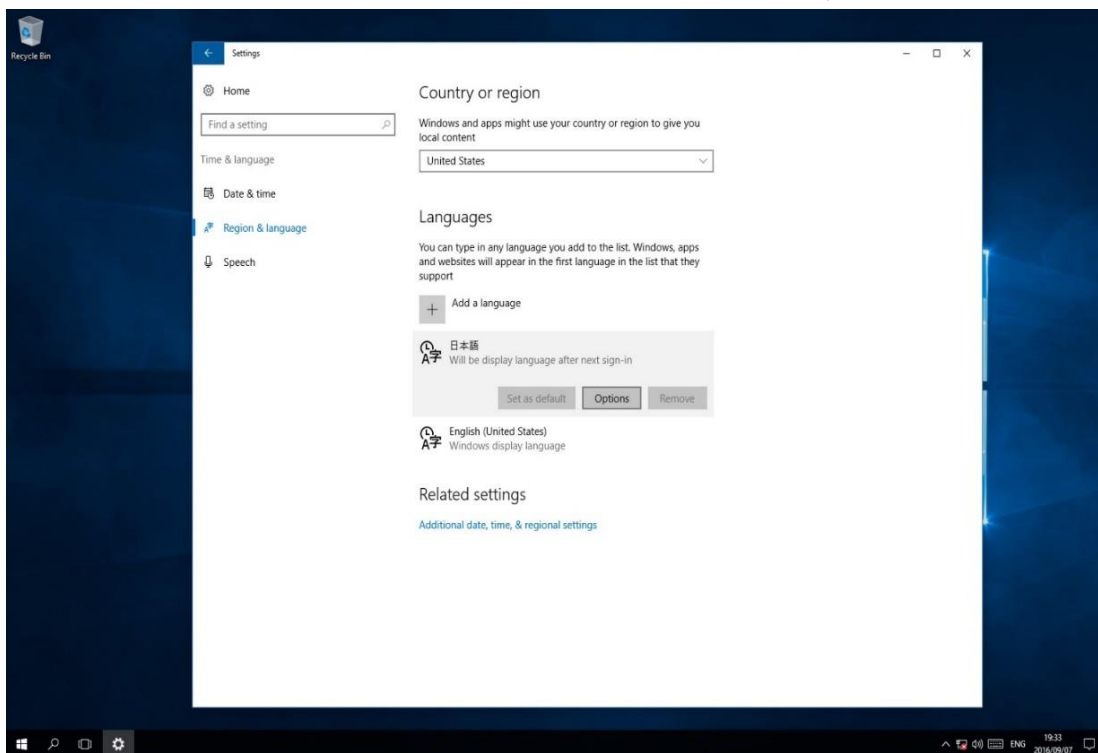


4.追加後、一覧に日本語が追加されていることを確認

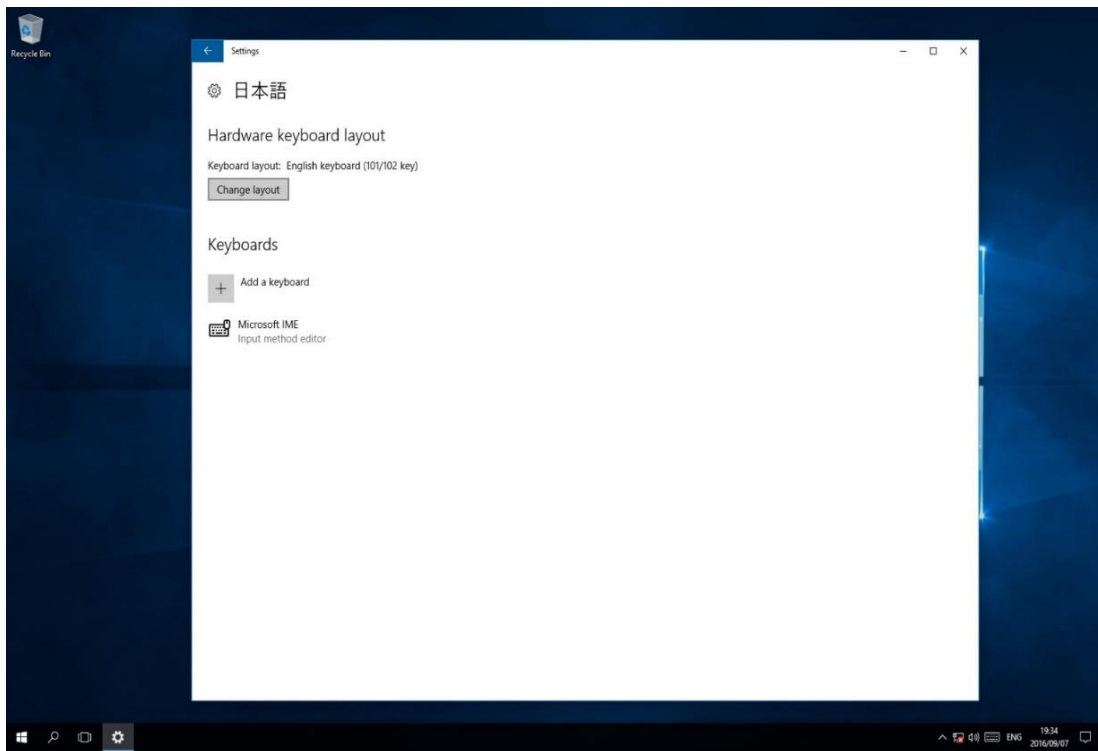


5.追加した言語をクリックし、「Set as Default」をクリック

6.上記操作を行った言語が一覧上位になっていることを確認し、「Option」をクリック



7. 「Keyboard Layout」の項目より、「106/109キーボード」を選択



8.操作完了後、サインアウトが実施された後に表示が日本語に変更されていることを確認